

11 月 27 日：VN 指数は横ばいで推移 (VN-Index -0.01%)

- イスラエルとレバノンが停戦に合意したことを受け、中東情勢の鎮静化への期待から投資家心理が改善。VN 指数は上昇して取引を開始した。
- しかし、買いの動きは続かず指数は徐々に下落していった。
- 後場に入っても指数は冴えない動きを続け、3 日連続の上昇は失敗に終わった。
- 外国人投資家からの買い越し額が大きかった情報技術セクターが最も上昇した。
- 124 銘柄が上昇、237 銘柄が下落、89 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日から 14.9%低下し、11.3 兆ドンとなった。

VN30 指数は 1,300pt に到達 (VN-30 +0.14%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、9 銘柄が上昇し、14 銘柄が下落、7 銘柄が変わらずとなった。
- 特に、FPT (+2.74%) と POW (+1.62%) がけん引役となった。
- SSI (-1.22%)、VHM (-1.18%)、VRE (-1.09%) の下落が大きかった。

セクター・個別株の動き

- FCN (-0.40%) の関連会社である Fecon Hoayen は、バクザン省ホアイエン工業団地の開発について正式承認された。開発用地の広さは 256 ヘクタールで、同社は総投資額 3 兆 7,450 億ドンのうち 5,618 億ドン出資する。
- EIB (+2.19%) は近頃、定款資本を 17 兆 4,690 億ドンから 18 兆 6,880 億ドン超に増加させることが承認された。これを受け、比較的好調な株価上昇を本日記録した。
- 外国人投資家は 4 日連続で買い越しが続いており、本日の買い越し額は 3,550 億ドンと 1 カ月ぶりの大きさとなった。特に FPT (+2.74%) が多く買われた。

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。